

(1) 造形遊びの内容と指導について

低 学 年	中 学 年	高 学 年
<p>(表現の特徴・実感)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思いのままに展開し、活動を楽しむ。</li> <li>・ 試しながら、思いを広げる。</li> <li>・ 体験したことや関心のあるものを表現する。</li> </ul> <p>【配慮事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 体全体でかかわる造形活動の過程を児童自身が進められるようにする。</li> <li>・ いろいろな材料、さまざまな方法、広い場所、支援のことばかけなどの工夫をする。</li> </ul>	<p>(表現の特徴・実感)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動が広がる。</li> <li>・ 友達との活動を好む。</li> <li>・ いろいろな材料や表し方などへも関心を示す。</li> <li>・ 創造を広げ、自分なりの技能を働かせようとする。</li> </ul> <p>【配慮事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 手や体全体の感覚を働かせ、創造的な想像力や技能を駆使して、つくり出す活動を児童自身が進められるようにする。</li> <li>・ 友達とともに活動することを生かす。</li> <li>・ 日ごろ体全体でかかわって遊んでいる場所を生かす。</li> </ul>	<p>(表現の特徴・実感)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関心の対象が広がる→意外な場所</li> <li>・ 材料や表し方などに、自分らしいアイデアを見つけようとする。</li> <li>・ 自分なりの手ごたえや新鮮さを求める。</li> <li>・ 自分なりのよさや美しさなどを考える。</li> </ul> <p>【配慮事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 今までの造形体験を生かして、個々の資質や能力を総合的に働かせるようにする。</li> <li>・ 材料とのかかわりをより一層深める。</li> <li>・ 場所などの特徴や様子から、楽しい活動ができるように題材の工夫をする。</li> </ul>

① 場を生かす造形遊びで鍛えたい創造力

ア 創造力を働かせた発想や想像の能力

- その場所の特徴をとらえることができる。
- 自分の経験やその場に対する感情を結びつけて新しいイメージを描くことができる。

イ 創造的な技能

- 材料・用具を準備することができる。
- 試行錯誤しながら表現することができる。

② 場を生かす造形遊びのための手だて

- 手だて1 意外性のある場の提案
- 手だて2 場を生かす視点の明確化
- 手だて3 友達との感じ方の交流の場の設定
- 手だて4 試行錯誤の時間の設定
- 手だて5 鑑賞活動の場の設定

Ⅲ 研究の実際と考察

1 検証授業計画

- (1) 題材名 ぼくのわたしのテーマ・パーク
- (2) 題材の目標
  - ① 造形活動への関心・意欲・態度

場所などの特徴や様子を感じ取り体全体の感覚を働かせてかかわることができる。

② 発想や創造の能力

場所の特徴からテーマを見つけ、よさや美しさ、楽しさなどを考え、造形的に構成できる。

③ 創造的な技能

造形体験を生かし材料や用具を探したり、新たな表し方を試みたりして材料や場所、環境を造形的に構成したり、美しさや楽しさなどの調和を考えて形づくったりすることができる。

④ 鑑賞能力

互いのテーマ・パークを訪れてそのよさを認め合うことができる。

(3) 指導計画 (総時数 7時間)

時	ね ら い	造 形 活 動
検証授業 I 1・2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校庭を歩き、場所の特徴をとらえたテーマ・パークをいろいろイメージすることができる。</li> <li>○ メモをもとにグループを決め、どこにどんなテーマ・パークをつくるのかグループごとに話し合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「テーマ・パーク」とは、どのようなものか参考資料からとらえ学習のめあてを知る。</li> <li>○ 学校の敷地内を歩きそれぞれの場所の特徴から浮かんだテーマ・パークのアイデアをカードにメモする。</li> <li>○ どこで、どんなテーマ・パークをつくりたいと考えたかメモをもとに発表し、似たようなアイデアごとにグループをつくる。</li> <li>○ グループごとにテーマ・パークの名前を決める。</li> <li>○ グループごとに表現方法や材料について考えを出し合い、これからの計画について話し合う。</li> </ul>
準備期間		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分たちで計画的に材料を集める。</li> <li>○ コマーシャルプリントを作成して、他学級に遊びに来てもらうように呼びかける。</li> </ul>
検証授業 II 3↓7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 場所や環境の特徴から発想し、よさや美しさ、ユーモアの感覚を働かせて「テーマ・パーク」をつくる楽しい造形活動を行うことができる。</li> <li>○ 互いのテーマ・パークを訪問し合い、互いのよさを認め合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分らしい楽しいアイデアを見つけ、自分なりの表し方を工夫して活動する。</li> <li>○ 完成した場所で他学年の訪れた人に説明したり、いっしょに遊んだりする。</li> <li>○ 互いのテーマ・パークを訪問し合った後メッセージ・カードを書く。</li> <li>○ 友達と協力して後片づけをする。</li> </ul>

2 検証授業の実際と考察

(1) 検証の観点